

## 安全データシート (SDS)

### 1 化学品及び会社情報

#### 化学品の名称

|       |               |
|-------|---------------|
| 製品コード | 4-DF-002      |
|       | 4-DP-002      |
| 製品名   | ダニ (Df) 虫体抽出物 |
|       | ダニ (Dp) 虫体抽出物 |

#### 会社情報

|           |                                 |
|-----------|---------------------------------|
| 会社名       | ITEA株式会社 東京環境アレルギー研究所           |
| 担当部署      | 品質保証課                           |
| 住所        | 〒113-0001 東京都文京区白山1-33-18白山NTビル |
| 電話番号      | 03-3526-2031                    |
| Fax番号     | 03-3526-2032                    |
| 電子メールアドレス | reag-info@itea.jp               |
| 緊急連絡電話番号  | 03-3526-2031                    |

#### 推奨用途及び使用上の制限

|        |                  |
|--------|------------------|
| 推奨用途   | 研究用試薬            |
| 使用上の制限 | 推奨用途以外への使用は禁止する。 |

### 2 危険有害性の要約

#### GHS分類

|           |        |
|-----------|--------|
| 物理化学的危険性  | 分類できない |
| 健康に対する有害性 | 分類できない |
| 環境に対する有害性 | 分類できない |

#### GHSラベル要素

|         |       |
|---------|-------|
| 絵表示     | なし    |
| 注意喚起語   | なし    |
| 危険有害性情報 | 該当しない |
| 注意書き    | 該当しない |

他の危険有害性 情報なし

重要な徴候及び想定される非常事態の概要 情報なし

### 3 組成及び成分情報

#### 化学物質・混合物の区別

混合物

## 組成及び成分情報

| 化学名又は一般名        | CAS番号     | 官報公示<br>整理番号 | 濃度又は<br>濃度範囲 (wt%) |
|-----------------|-----------|--------------|--------------------|
| 抽出物原料 (*1) 由来成分 | -         | -            | ≥ 90.86            |
| 塩化ナトリウム         | 7647-14-5 | 1-236        | ≤ 6.28             |
| りん酸水素二ナトリウム七水和物 | 7782-85-6 | 1-497        | ≤ 2.10             |
| ProClin™ 950    | -         | -            | ≤ 0.41             |
| リン酸カリウム         | 7778-77-0 | 1-452        | ≤ 0.19             |
| 塩化カリウム          | 7447-40-7 | 1-228        | ≤ 0.16             |

\*1 抽出物原料は以下のとおり。

4-DF-002：ダニ (Df) 虫体 (CAS番号：-, 官報公示整理番号：-)

4-DP-002：ダニ (Dp) 虫体 (CAS番号：-, 官報公示整理番号：-)

## 特記事項

ProClin™ 950中に以下を含む。

2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン (CAS番号：2682-20-4) < 10% (製品中 < 0.04%)

本製品は、毒物及び劇物取締法、安衛法「表示、通知すべき有害物」、化管法に該当する危険有害成分を含まない。

---

## 4 応急措置

---

### ばく露経路による応急措置

|           |  |
|-----------|--|
| 吸入した場合    | 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。<br>気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。                                  |
| 皮膚に付着した場合 | 大量の水で洗うこと。異常が生じた場合には、直ちに医師の診断、<br>手当てを受けること。   |
| 眼に入った場合   | 水で15～20分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを<br>着用していて容易に外せる場合は外すこと。<br>その後も洗浄を続けること。<br>直ちに医師の診断を受けること。 |
| 飲み込んだ場合   | 水で口をすすぎ、直ちに医師の診断を受けること。  |

### 予想される急性症状

本製品に接触したり吸入した場合、眼、皮膚や気道に刺激性を生じたりアレルギー反応を生じる可能性がある。

### 遅発性症状の最も重要な徴候症状

情報なし

### 応急措置をする者の保護

救助者は、状況に応じて適切な眼、皮膚の保護具を着用する。

### 医師に対する特別な注意事項

情報なし

---

## 5 火災時の措置

---

### 適切な消火剤

周辺火災に応じて水噴霧、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素を使用する。

**使ってはならない消火剤**

消火剤の制限なし。

**特有の危険有害性**

情報なし

**特有の消火方法**

消火活動は風上から行う。  
火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。  
危険でなければ火災区域から容器を移動する。

**消火を行う者の保護**

消火作業の際は、適切な保護具や耐火服を着用する。

---

**6 漏出時の措置**

---

**人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置**

作業者は適切な保護具（「8 ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

**環境に対する注意事項**

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

**封じ込め及び浄化の方法及び機材**

飛散した物を掃き集めるか、真空掃除機で吸引する等できるだけ飛散発じんしないようにして、空容器等に回収する。

---

**7 取扱い及び保管上の注意**

---

**取扱い**

|          |  |
|----------|--|
| 技術的対策    | 「8 ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。     |
| 安全取扱注意事項 | この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。<br>粉じんを発生させないようにする。 |
| 接触回避     | 直射日光、高温多湿を避ける。                               |
| 衛生対策     | 取扱い後はよく手を洗うこと。                               |

**保管**

|        |                              |
|--------|------------------------------|
| 技術的対策  | 2～8℃を維持できるバイオメディカルクーラーで保管する。 |
| 混触禁止物質 | 情報なし                         |
| 保管条件   | 直射日光を避け、2～8℃で保管する。           |
| 容器包装材料 | ガラス                          |

---

**8 ばく露防止及び保護措置**

---

**管理濃度**

設定されていない

**許容濃度（ばく露限界値、生物学的指標）**

|                       |  |
|-----------------------|--|
| ACGIH TLV-TWA (2018)  | 3 mg/m <sup>3</sup> (その他の不溶性のレスピラブル粒子)               |
|                       | 10 mg/m <sup>3</sup> (その他の不溶性のインハラブル粒子)              |
| ACGIH TLV-STEL (2018) | 設定されていない   |
| 日本産業衛生学会 (2017)       | 2 mg/m <sup>3</sup><br>(第3種粉塵 (その他の無機および有機粉塵)、吸入性粉塵) |
|                       | 8 mg/m <sup>3</sup><br>(第3種粉塵 (その他の無機および有機粉塵)、総粉塵)   |

※ 本項目は感受性そのものに対する許容濃度ではない。

### 設備対策

粉じんが発生する作業所においては、必ず密閉された装置、機器または局所換気装置を使用する。

### 保護具

|            |             |
|------------|-------------|
| 呼吸用保護具     | 保護マスクを着用する。 |
| 手の保護具      | ゴム手袋を着用する。  |
| 眼の保護具      | 保護眼鏡を着用する。  |
| 皮膚及び身体の保護具 | 保護衣を着用する。   |

---

## 9 物理的及び化学的性質

---

|                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| 外観 (物理化学的状態、形状、色など) | 薄茶色もしくは白色粉末          |
| 臭い                  | 情報なし                 |
| 臭いの閾値               | 情報なし                 |
| pH                  | 7.2~7.6 (精製水で溶解後)    |
| 融点・凝固点              | 情報なし                 |
| 沸点、初留点及び沸騰範囲        | 情報なし                 |
| 引火点                 | 情報なし                 |
| 蒸発速度                | 情報なし                 |
| 燃焼性                 | 情報なし                 |
| 燃焼範囲の上限・下限          | 情報なし                 |
| 蒸気圧                 | 情報なし                 |
| 蒸気密度                | 情報なし                 |
| 比重                  | 情報なし                 |
| 溶解度                 | 水に溶解するが、濁りを生じることがある。 |
| n-オクタノール/水分配係数      | 情報なし                 |
| 自然発火温度              | 情報なし                 |
| 分解温度                | 情報なし                 |
| 粘度                  | 情報なし                 |

---

## 10 安定性及び反応性

---

|            |                          |
|------------|--------------------------|
| 反応性、化学的安定性 | 通常の手扱い条件下では安定である。        |
| 危険有害反応可能性  | 通常の手扱い条件下では危険有害反応を起こさない。 |
| 避けるべき条件    | 直射日光、高温多湿                |
| 混触危険物質     | 情報なし                     |
| 危険有害な分解生成物 | 情報なし                     |

---

## 11 有害性情報

---

製品の有害性情報 情報なし

成分の有害性情報 情報なし

---

## 12 環境影響情報

---

### 製品の環境影響情報

|           |      |
|-----------|------|
| 生態毒性      | 情報なし |
| 残留性・分解性   | 情報なし |
| 生体蓄積性     | 情報なし |
| 土壌中の移動性   | 情報なし |
| オゾン層への有害性 | 情報なし |

成分の環境影響情報 情報なし

---

## 13 廃棄上の注意

---

### 残余廃棄物

廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。

### 汚染容器及び包装

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した上、リサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

---

## 14 輸送上の注意

---

### 国際規制

#### 陸上輸送（ADR/RIDの規定に従う）

|       |       |
|-------|-------|
| 国連番号  | 該当しない |
| 品名    | 該当しない |
| 国連分類  | 該当しない |
| 副次危険性 | 該当しない |
| 容器等級  | 該当しない |

#### 海上輸送（IMOの規定に従う）

|        |       |
|--------|-------|
| 国連番号   | 該当しない |
| 品名     | 該当しない |
| 国連分類   | 該当しない |
| 副次危険性  | 該当しない |
| 容器等級   | 該当しない |
| 海洋汚染物質 | 該当しない |
| IBCコード | 該当しない |

#### 航空輸送（ICAO/IATAの規定に従う）

|       |       |
|-------|-------|
| 国連番号  | 該当しない |
| 品名    | 該当しない |
| 国連分類  | 該当しない |
| 副次危険性 | 該当しない |
| 容器等級  | 該当しない |

**国内規制**

|        |       |
|--------|-------|
| 陸上規制情報 | 該当しない |
| 海上規制情報 | 該当しない |
| 海洋汚染物質 | 該当しない |
| 航空規制情報 | 該当しない |

**緊急時応急措置指針（容器イエローカード）番号**

該当しない

**特別の安全対策：**

輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

---

**15 適用法令**

---

|                   |       |
|-------------------|-------|
| 毒物及び劇物取締法         | 該当しない |
| 労働安全衛生法           |       |
| 名称等を通知すべき危険物及び有害物 | 該当しない |
| 名称等を表示すべき危険物及び有害物 | 該当しない |
| 化学物質排出把握管理促進法     | 該当しない |

---

**16 その他の情報**

---

**参考文献**

ITEA株式会社 東京環境アレルギー研究所保有資料  
NITE GHS分類結果一覧（2018）  
日本産業衛生学会（2017）許容濃度等の勧告  
ACGIH, American Conference of Governmental Industrial Hygienists (2018) TLVs and BEIs.

**【注意】**

本SDSは、JIS Z 7253:2019に準拠し、作成時における入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成していますが、必ずしも十分ではない可能性がありますので、取扱いにはご注意ください。本SDSの記載内容については、新しい知見等があった場合には適宜改訂を行います。また、注意事項等は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には用途・条件に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。